

心の中を表現する心象絵画

田中敬一受賞記念個展



▲50点以上の絵画を展示

5月14日から19日の6日間、遠賀信用金庫みやじ参道支店で、田中敬一さんが福岡県地域文化功労者賞とモノコ公国名誉賞を受賞したことを記念して、絵画個展が開催されました。会場には50点以上の絵画が並んでいました。

田中さんは、心の中を絵にして表現するため、何も見ないで描くといいです。「描いている途中でも、作品が変化していきます。鑑賞する人が、いろいろ想像できる絵が良い絵ですね」と気さくに語ってくれました。

歴史を刻み続ける藍の家

藍の家保存会20周年

5月18日、津屋崎千軒民俗資料館「藍の家」で、藍の家保存会が発足して20周年を迎える式典が開かれました。保存会代表の柴田富子さんが開会のあいさつで「藍の家が残って本当に良かった」と涙交じりに語りました。

フルート奏者の児玉麻紀さんが「白鳥」や「ふるさと」を演奏。その後、^{ひいぶんじ} 谿雲寺の土江賢祥住職が「享年を生きぬく」と題して法話。^{つちえいしやう} 仏教の基本的な教えである「四法印」を解説しながら、「いつ死ぬか分からない。今この瞬間を真剣に生きることが大切」と生活の質を説いていました。



▲「この藍の家が残って本当に良かった」と語る藍の家保存会代表の柴田さん

あなたの周りの身近な出来事や話題をお寄せください。

まちのわだい

〒811-3293(住所不要) ☎43・8113
福津市役所広報秘書課 広報ふくつ行

水害から福津市民を守るために

消防団・消防署 合同水防訓練を実施

6月9日、なまずの郷で、消防団と消防署が合同の水防訓練が行われました。梅雨前線が九州北部に停滞して豪雨をもたらした、なまずの郷内の土手と池の堤体が決壊寸前となっていることを想定。

雨が降りしき中、福津市消防団員と宗像消防署員が連携して作業。

わずか10分程度の時間で越水を防止する土のうを積み上げ、斜面には崖崩れを防止する巨大なブルーシートを張り終えました。団員たちの額からは、玉の汗が噴き出していました。

福津市消防団と宗像消防署は、市民の皆さんの生命と財産を守るため定期的に訓練を行っています。

※市民の暮らしを守る福津市消防団員を募集中です！

【問い合わせ】 市生活安全課(福岡庁舎) ☎43・8106



▲雨が降りしき中、ずっしりと重くなった土のうを懸命に積み上げる消防団員

市民広報
ボランティア



元気の源

本町区に住む北崎富士男さん(73)は、5~6年前から朝5時から10時くらいまで、本町区を中心に雨天以外はほぼ毎日、清掃活動を行っています。また、午後からは公民館横の花壇の手入れや、福岡方面へ出向いて空き缶の回収など多忙です。

健康維持を兼ねて始めたこの活動。今では登校中の子どもたちと笑顔で交わすあいさつや地域の人たちとの触れ合いを大切にされています。「掃除が趣味」とすがすがしい笑顔で話す北崎さん。大好きなこのまちで生きがいを見つけ、みんなに「キレイ」と「元気」を与えています。 【櫻井紀子】



運動会前の草刈り

上西郷小学校で運動会前にグラウンドの草刈りが行われました。早朝から生徒や保護者、先生たちが集合。ボランティアで上西郷地区のシルバー人材センターの人たちも応援に来てくれました。子どもたちは花壇の周りの草取り、シルバー人材センターの人たちは草刈り機での刈り込み、先生たちは刈り取った草の回収と、手際良く作業が進みました。広いグラウンドも多くの人たちのおかげできれいになり、校長先生からお礼のあいさつとともにお茶が配られました。元気な子どもたちの運動会が楽しみです。 【福崎信一】



福津市成人ソフトボール大会

第9回を迎える福津市成人(300歳)ソフトボール大会が、なまずの郷、みずがめの郷、あんずの里で開催され、1部リーグ7チームを含む全59チームが参加しました。

どのゲームも接戦続きで、応援する人も大きな声と拍手で盛り上がっていました。

試合によっては同点のためジャンケンで勝敗を決めたものもあり、面白い試合展開が繰り広げられていました。

【吉村邦夫】



潮干狩り

5月の連休の時に多くの家族連れがアサリを掘っていたというニュースが耳に入ったので、もともと貝掘りが好きな私は5月8日の大潮の時に掛けた。

十数人の人たちが掘っていたので仲間に入れてもらい、約1時間で800gほど収穫しました。

早速、塩水に浅くつけて砂出しを10時間ほどして、潮汁にして食し、貝の香を満喫しました。

【山本武利】

みんな大好き!

わが家の宝



(左) こやま かつき
小山 珈稀ちゃん
平成18年12月2日生
西福間1区
りん君も、もうすぐ1歳!!早くお兄ちゃんたちと一緒に遊び回りたいね。これからも、3人仲良くスクスク大きく育ててね。



さくらい あやと
櫻井 純登ちゃん
平成24年7月13日生

花見3区
1歳のお誕生日おめでとう。
いっぱい食べて、たくさん遊んで、すくすく元気に大きくなあれ!



きたその なつみ
北園 夏望ちゃん
平成24年7月18日生

あけぼの区
満1歳おめでとう♡笑顔がとってもかわいいなつちです。お兄ちゃん、お姉ちゃんに可愛いがられて元気に大きくなってね。



たなか いぶき
(左)田中 芽紀ちゃん
平成22年7月4日生
いけだ かんた
(右)池田 華ちゃん
平成24年5月12日生
東福間6区
芽紀、3歳の誕生日おめでとう☆
華、1歳の誕生日おめでとう☆
これからもいとこ同士仲良く、お姉ちゃんお兄ちゃんに負けぬように、元気に大きくなってね。

募集しています

●広報ふくつでは「みんな大好き!わが家の宝」に登場してくれる1歳から4歳程度のお子さんを募集しています。●「〇月号に載せて」という場合を除き、締め切りはありません。申し込みいただいた後の最新号に掲載します。●誕生日など、掲載号をご指定の場合は、誕生日の前月1日までに申し込みください。●お子さんのお名前・住所(行政区)・生年月日・お子さんのお気に入り(好きなものなんでも)に写真を添えて申し込みください。
申込・問い合わせ 市広報秘書課(福間庁舎) ☎43・8113

TOWN TOPICS

災害で境界が不明になったときのために

土地家屋調査士協会の 災害時による応急対応協力協定



▲小山市長(左)と
福岡県公共嘱託登記土地家屋調査士協会 理事長 松尾孝人さん

5月14日、「公益社団法人福岡県公共嘱託登記土地家屋調査士協会」と「福津市」との間で、災害発生時における応急対応策の協力に関する協定書の調印式が行われました。
この協定により、災害により土地の境界が不明になった時に、その復旧のために協会から人員を派遣し、情報の収集などの業務を行うことで、速やかな復興支援が期待できます。理事長の松尾さんは「皆さんのお役に立てる組織を作りたい」とあいさつしました。

資質向上を図るために

福津市と古賀市の 民生委員・児童委員協議会合同研修会



▲活発な質問や意見が交わされました

5月17日、民生委員・児童委員の資質向上を図るために、福津市役所(福間庁舎)で、福津市と古賀市の民生委員・児童委員協議会合同の研修会が開催されました。

古賀市民生委員・児童委員協議会54人が福間庁舎を訪れ、両市の活動状況などの情報交換をして、交流を深めました。

また、福津市民生委員・児童委員協議会の委員が歓迎の気持ちをこめて作成した手づくりの「ウエルカムカード」に、古賀市の参加者は「福津市のおもてなしの心がうれしい」と喜んでいました。



▲「Fukutsu蚤の市」の会場は、真剣に品定めする人たちでいっぱいでした



▲「福津ふれあいマルシェ」には野菜やお菓子などが並び、多くの人たちが買い求めていました

池の復元も間近です

畦町のお祇園様横の池を整備

5月26日、畦町のお祇園様の横にある池を整備する作業が、唐津街道畦町宿の街並みを保存する会の皆さんにより行われました。

池へと続く階段路の脇に支柱を打ち込んで、現地で調達してなたで二つに割った竹を被せて釘で留めるとあっという間に手すりの完成です。設計図など特になくともスルスルと組み上がっていく手際の良さが実に見事でした。また、池にたまった土砂を運び出した後、菖蒲も植えられました。会の皆さんの努力によって、池は元の姿に近づきつつあります。



▲手すりを支える柱を力いっぱい打ち込みます



たくさんの交流が生まれました

Fukutsu蚤の市・ 福津ふれあいマルシェを開催

JR福間駅の西口にある商業施設と隣接する広場で5月25日、26日の2日間「Fukutsu蚤の市」が、5月26日に「福津ふれあいマルシェ」が開催されました。

蚤の市には、市内外から15を超える店が出店。アンティーク雑貨やジャム、キャンドル、手作り雑貨などさまざまなジャンルの商品が並び、初めての開催にもかかわらず掘り出し物を求める多くの人たちで賑わいました。

また、ふれあいマルシェでは福津市や宗像市の障がい者福祉施設で作った商品を販売。施設利用者の手で販売することで、施設のことを知ってもらったり地域の人と交流したりする機会となりました。実行委員会の猪口さんは「来年もぜひ開催して、より多くの人に来てもらいたい」と語っていました。

市民広報 ボランティア



おいでおいでカフェ

5月14日、福間郷づくり交流センター「ふくまりん」で「ふくつこどもステーションすてっぷ」と「ふくま郷づくりの会子育て支援部」の共同主催による「おいでおいでカフェ」がありました。

カフェ代表の安達愛さん手作りの安心おやつとドリンクをいただきながら、「ごはんを作る=世界をつくる」という視点でさまざまなテーマについて語り合います。今回は食品添加物について。

今後も月2回のペースで開催される予定です。【下田弘美】



1000km以上を旅するチョウ

アサギマダラが飛来

アサギマダラというチョウをご存じですか？
 羽を広げた大きさは10cmほどで、名前の由来である浅葱色（薄い青緑色）の紋様が特徴のチョウです。暖かい季節には北上し、寒い季節には南下する「渡り」をするチョウとしても有名で、その移動距離は1000kmから2000kmにも及ぶそうです。
 5月下旬に津屋崎海水浴場の近辺で、その姿を見ることができました。時期的に北上している途中に飛来したものと考えられます。



▲5月23日に撮影

大変さを身をもって体験

田植えを体験するイベントを開催



▲慣れないと一直線に植えるのもまなりません

6月8日、西郷川花園の隣の観光田で田植え作業を体験するイベントが開催され、およそ150人の参加者が汗を流しました。
 参加者は苗の植え方を簡単に教わった後、はだしになって田んぼの中に入り、中腰で苗を一つ一つ手作業で植えていきました。
 「地味な作業ですが、見た目以上にきつい重労働で大変です」と語りながらも、楽しそうに田植えをする親子の姿が印象的でした。

花植えを通じて親子の触れ合い

光明幼稚園の園児がなまずの郷で花植え



▲百日草やサルビアの花を植えました

5月21日、光明幼稚園の園児とその保護者およそ200人が遠足でなまずの郷を訪れ、花壇に花を植えました。
 五月晴れの晴天のもと、園児たちは保護者や先生に植え方を教わりながら、土に穴を掘り、花を植え、そっと土をかけます。
 用意された450本の花が全て植えられると、何も無かった花壇は赤や黄色の花でにぎやかになりました。

ふくつつ便

自由投稿コーナー「聞いてちゃってんしゃい!ふくつつ便」

地域の分別収集での草木・剪定ごみの回収について

S・Kさん

◎ 草木・剪定ごみの回収については、分別収集の開催当日は組長さんたちが足元にビニールシートを敷き、終了後も足元に落ちた草木・剪定ごみを片付けています。

しかし、次の日に業者がごみを回収する際、車に積み込む時に落としたたぐさんの草木・剪定ごみをそのままにして走り去っていきます。

せめて作業の際にシートなどを敷き、落としたものは回収していただけないでしょうか？よろしくお願ひします。

▲ 貴重なご意見ありがとうございます。

草木の剪定ごみについては、地域分別収集開催日の翌日に、市が委託した清掃業者が資源物と一緒に回収してあります。

清掃業者がごみ収集車に積載する際

問い合わせ
 福津市広報秘書課
 (福間庁舎)
 ☎43・8113

に剪定した草木が散乱しているとの指摘ですので、剪定した草木の散乱防止および回収後の分別収集会場の清掃を徹底するよう清掃業者に対し強く指導します。
 大変不愉快な思いをさせたことについてお詫び申し上げます。
 今後とも地域分別収集へのご理解・ご協力のほどよろしくお願い致します。

問い合わせ 市づみがめ課津屋崎庁舎 ☎502・4002



おたより
 寄せちゃってんしゃい
 お便りを送ってください

自由投稿コーナー「聞いてちゃってんしゃい!ふくつつ便」では、皆さんからの自由な意見・要望・談話などを投稿・紹介しています。福津市をもっと住みよく、もっと楽しくするためには皆さんの声がとても重要です。皆さんのさまざまな話をお聞かせください。お待ちしております。※誌面の都合により、掲載できないことがあります。

✂きりとり

POST CARD

8 1 1 3 2 9 3

お手数ですが50円切手をお貼りください

フリガナ _____

◎ 氏名 _____

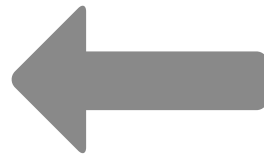
◎ 年齢 歳 ◎ 性別 男・女 _____

◎ ペンネームまたはイニシャル _____

※記載がない場合は、実名での記載とさせていただきます。

◎ 住所 〒 _____

◎ 電話() _____



点線に沿って切り抜き、必要事項を書いて、必ず切手を貼って投稿してください。



福津市役所広報秘書課
 広報広聴係 行